

9 2022年度 ゼミ論文・卒業研究タイトルの確認 資料

* 2020年度より複合文化論系プログラムは下記のように改編されました。

言語文化ゼミ	人間文化ゼミ
<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの歴史・ことばの地理 上野和昭先生 ・ことばの科学・ことばの哲学 酒井智宏先生 ・ことばと文学・ことばと美意識 陣野英則先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ツーリズム論 寺崎秀一郎先生 ・宗教への人類学的アプローチ 國弘暁子先生、椎野若菜先生 ・移動・移住の人類学 松前もゆる先生 ・環境と開発の人類学 箕曲在弘先生
超域文化ゼミ	感性文化ゼミ
<ul style="list-style-type: none"> ・都市と美術 坂上桂子先生 ・文化変容論 宮城徳也先生 ・集合的アイデンティティの諸相 山田真茂留先生 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の文化哲学 小林信之先生 ・現代文明への視座 小野寺賢一先生 ・メディア・コミュニケーション論 高橋利枝先生

言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生

京都ハル敬語の使用実態と使い分け意識について

特攻服や変形学生服等の衣服に施された刺繍・プリントにおける「ヤンキー当て字」の研究

J-popの歌詞に表れることばの性差

「兜大吾」の広島方言使用から見る、創作物での方言使用についての研究

インターネットスラングの意味用法と使用意図—笑いを表す表現に着目して—

大阪・京都における言語景観への方言利用の実態と、二府間にみられる差異の要因 ——大阪府庁・京都府庁が作成した揭示物を対象にした比較分析から——

ことわざ・慣用句に用いられる食べ物

言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生

多元的なフェイスにもとづくポライトネス

日本語否定間投詞「いいえ」「いえ」「いや」「うん」の相互行為における働きの差異

シラビーム方言と民謡の関係性

助動詞『そうだ』の付加による形容詞文の判断者の変動

言語文化ゼミ(ことばと文学・ことばと美意識) 陣野英則先生

色名と日本文化

生活圏内の文化の活用

ジャポニスムと芸術文化の発信

「打ち言葉」の表記・意味の多様性

日本における散る桜のイメージ

意味の変化と不可逆性の関連

切腹・心中に対する韓国人の認識とその背景

ジェンダー不平等から考える日本人女性のキャリア

人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

廃校活用に求められる役割—地方創生、経済振興を通じた地域との関わり—

観光地浅草の新たな街づくり——浅草を介したイメージと実態からみる未来の観光地の在り方——

ドヤ街は不幸か——寿町の人々の生活実態から——

日本人にとって富士山とは—現代の日本人が富士山に持つイメージを銭湯ペンキ絵から考える—

ステレオタイプを背負わされる当事者たちのイメージとの向き合い方—京都の人たちの京都や京都人に対する意識から考える—

人間文化ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生、椎野若菜先生

令和時代の西国三十三所に関する多角的考察 —アフターコロナへ向けた展望—

在日ムスリム女性として生きる —東京ジャーミイでの「語り」から—

色彩における西洋文化の表現と受容 —ミュージカル『オペラ座の怪人』の舞台衣装から—

住んでいる地域への愛着を持つ—相模原市のまちづくりから考える—

魅力ある都市公園とは——利用者の愛着を育む公園づくり——

雑誌『ポパイ』における読者への振る舞いの変化

手づくり市のエスノグラフィ—東京都調布市の事例から—

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの魅力 —TDLとの比較を通して—

看護師と大学生の死に対する認識について

人間文化ゼミ(移動・移住の人類学) 松前もゆる先生

ベーシックインカムは新しい社会保障になりえるか

職場におけるLGBT施策の課題と展望

政策上の高度人材と日本の私企業における高度人材の活用実態の比較

「良い」公共広告とは—「寛容ラップ」にみる、広告表現がもたらす視聴者への影響—

コロナ禍における「住まい」の意識・役割変化

「日本の若年女性における過度な痩せ願望ともたらす弊害」～なぜ若年女性はそのまで“痩せ”たがるのか～

日本におけるブラジル人移民の現状

日本経済におけるITの潮流とそれに伴うICT教育の現状
ジェンダーの視点から見る国際移民問題—フィリピン人女性の事例から
モータースポーツの歴史と課題
日本人と在日朝鮮人の共生の可能性
学生を対象とした福島県双葉郡葛尾村で実施される公共ツーリズムについて

人間文化ゼミ(環境と開発の人類学) 箕曲在弘先生

「ゆるさ」が育む異文化交流——埼玉県越谷市に通うベトナム人留学生に注目して——
聴者中心社会を問い直す ——ろう児へのノンフォーマル教育の実践に注目して——

超域文化ゼミ(都市と美術) 坂上桂子先生

オディロン・ルドン 現実と幻想の共存 ——花の作品を中心として——
ジャン・ヌーヴェルによるガラスと光の建築
ガブリエル・シャネルと新時代の女性像
フランク・ゲーリーの建築と都市の興隆 ——「ビルバオ・エフェクト」を中心に ——
ロセッティの芸術における愛の表象について
モーリス・ユトリロの絵画における「白」と祈りの表象
印象派の描いたロンドン——モネとピサロを例に——
エドガー・ドガの「踊り子」の表現について
芸術の都パリの景観とその形成
クロード・モネにおける〈睡蓮〉連作

超域文化ゼミ(文化変容論) 宮城徳也先生

日本のコロナ禍における観光政策と人々の旅行意欲の変化

アイドルテキスト分析実践 ——消費財としての成長物語——

現代日本におけるアフタヌーンティーの位置付け

サブスクリプション・サービスが作品制作業界に与えた影響

日本文化の何がフランス人を惹きつけるのか ——19世紀ジャポニスムから現代クールジャパンまで——

競技かるたの歴史と普及

フルクサスの日本人女性 ——前衛芸術における役割——

コロナが日本の観光にもたらした変化

色彩の持つ役割と意味 ——女兒向けアニメ『プリティーリズム・レイン ボーライブ』を中心に——

ゲーム実況及びソーシャルメディアがゲームに与える影響について ——ゲームの変容と今後の展開——

西洋と日本の「見るな禁止」における相違点・共通点と宗教思想の関係性 ——性別観・家族観の言説を中心に——

現代日本における宗教機能の分業 ——ゆるやかな信仰の必要性——

ディズニープリンセス映画のヴィランズ ——ヴィランズ描写の時代的变化について——

オタク文化の変化と拡大

超域文化ゼミ(集合的アイデンティの諸相) 山田真茂留先生

日本の教育の諸問題 ——教育格差を中心に——

日本の自殺 ——男性の失業に見られる自殺——

現代日本人の幸福感 ——幸福の感じ方の観点から——

身体感覚を伴う余暇活動の研究 ——余暇の目的意識を考察する——

日本における恋愛と結婚

組織アイデンティティ論の展開

テレワークと国民性

ひとり親家庭における貧困——階層再生産と子どもをめぐる諸問題——

観光まちづくりと地域ブランディング——交流による地域活性化の可能性——

ストリーミングの普及と音楽体験の変化

感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生

「人間」をむき出しにする芸術——アール・ブリュットにおける地域差の源とは？——

現代における地下アイドルシーン 構造の考察

アニメ文化が宗教イメージに与える影響——「セカイ系」アニメの考察を通じて——

現代の「性的逸脱」について —エロティシズム論の観点より—

『ファニーゲーム』における観客の参加とはどのような現象か

武満徹の音楽観

感性文化ゼミ(現代文明への視座) 小野寺賢一先生

トランスメディアとしてのeスポーツ

ミュージカル映画からみるマイノリティ考察

競技スポーツ向上と人工知能

ジェンダー平等のスポーツ界を目指して——スポーツにおけるジェンダー構造をとらえる——

マス広告・SP 広告から見たネット広告——ネット広告の可能性を広げるには——

「モッパン」による、日本での食文化受容の発展

ミュージカル『レ・ミゼラブル』を多面的に見る

体育会応援部におけるジェンダー

異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 高橋利枝先生

デジタル活用による日本の幸福度向上に向けて

若者の購買行動と SNS の利用から考えるデジタルマーケティングのありかたについて——ファッション業界の EC化に着目して——

妖怪の変遷——信じるものからフィクションへ——

中国社会における「寝そべり主義」の定義及びその形成理由について

Instagramが外見の意識に与える影響

美容・健康商材のYouTube広告が与える不快感について

現代日本における若者がどの程度 ビートルズを受容しているのか——またその理由の考察——

東京ディズニーリゾートにおける AI・ロボット活用の可能性について

読売ジャイアンツに対するミソジニー ——巨人軍のあるべき姿——

SNS と消費行動からみる今後の実店舗の在り方

Society5.0 時代における人間と AI のあるべき関係性について

韓流の定着とその背景

スマホ社会における娯楽について ——マンガと公営ギャンブルを中心に——

ジャニーズアイドルにおける「男性同士の絆」について

デジタル化に伴い衰退する珠算教育と今後の可能性

イラスト生成 AI によるイラストレーターの業務の代替可能性と両者の展望について

卒業研究(担当教員)

2000 年代以降のフェミニスト・ロマンス・ミュージカル -『Legally Blonde』と『SIX』を例に(宮城徳也先生)

有島武郎訳『草の葉』にみる翻訳の意義と効用(上野和昭先生)

日韓における韓国ドラマの需要 ——『椿の花咲く頃』と『愛の不時着』の比較を例に——(坂上桂子先生)

映画から読み解く1960年代新宿(坂上桂子先生)

現代社会での児童虐待リスク —女性の社会進出・コロナ禍を通して—(箕曲在弘先生)

『プリキュア』シリーズの「女子力」的構造(酒井智宏先生)

「ルッキズム」の現状と解決に向けて(松前もゆる先生)

女性向けゲームにおける“キャラ”について(松前もゆる先生)

天理教の親子観 ——中山みきの思想とオルタナティブな家族観——(松前もゆる先生)